



発行: 社会福祉法人 子供の町

児童養護施設 子供の町

児童養護施設 エンジェルホーム

地域小規模児童養護施設 菜の花

地域小規模児童養護施設 かえで

地域小規模児童養護施設 もくれん

住所: 埼玉県春日部市西金野井 337 番

電話: 048-746-0206

FAX: 048-746-9215



「支援型の職場へ」

社会福祉法人子供の町

理事長 齊之平伸一

いままでの組織は、ピラミッド型組織が多く採用されてきましたが、最近、環境の変化に素早く対応できる、フラットで柔軟な組織が注目されています。

上意下達のトップダウン型リーダーシップには、ピラミッド型組織が適していますが、職員の主体性・創造性を引き出し、チームワークを強くするためには、フラットで支援型の組織が適しています。

管理職が一人で直接管理できる部下の適正人数は、5 人から 7 人で、現在の子供の町の職員数では、3 階層で十分になります。これよりも階層が増えると、情報の伝達が不正確になり、意思決定にかかる時間が増えます。また、権限には責任が伴いますが、管理階層が増えると、権限と責任が曖昧になる場合があります。

ところで、子供の町では、委員会活動が活発に行われており、委員会は、リーダーシップ育成の良い機会となっております。従って、子供の町では、縦に管理階層、横

に委員会の網目構造のマトリックス型組織構造になっております。

マトリックス型組織では、情報共有が要になります。一人一人が情報を積極的に発信することが重要です。

幸い、子供の町では、子供の町だより、グループウェア、電子メール、SNS を活発に発信しているので、情報共有は高い水準にあります。しかしながら、様々な手段で情報共有を更に進めたいと思っております。また、職員をまとめるミッション、理念等も常に再検討され、自然に意識されていることは、チームワーク向上にプラスになっております。

このような状況下では、更に進めて、逆ピラミッド型組織・ボトムアップ型組織をめざすことが、フラットで主体性を重視した組織を構築する上で、大切と考えております。

ボトムアップ型のフラットで主体性を重視した組織をめざすには、支配型リーダーシップからサーバント・リーダーシップへの変革が必要です。

部下を権力で支配するのではなく、部下を

支援し、部下に奉仕する支援型の組織です。

支援型の組織を構築し、子供の町のミッション・理念の実現をめざしてまいります。

「令和の米騒動」

子供の町 施設長 坂本仁志

新年度がスタートして3か月が過ぎようとしています。子どもたちも進級進学した環境にも慣れてきたところでしょうか。新規採用の職員さんや異動してもらった職員さんたちも懸命に子どもたちのことを考え頑張っている姿を拝見し心強く感じています。

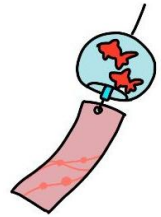
さて、最近のニュースと言えば「令和の米騒動」の話題が日夜流れています。お米が店頭からなくなったり、高値となり、備蓄米が放出されるという事態になっていて、子供の町が創設された食糧難の時代でもないのにと思ってしまいます。私の中にも稲作は日本の伝統的な文化であり、安定して何時でも安価で購入できるという根拠のない確信めいた思いがありました。今回の騒動は、現代社会でも自然の力(高温化や豪雨)や収穫量と需要量の見誤りにより想定外の事態になることを教えてくれます。しかしその要因の一つには、農業従事者の高齢化や後継者不足の問題もあるとのことでした。

大事な産業である農業を将来にわたって維持継続していくために、そこに従事する人への施策や支援が必要なことを感じる機会となっています。

子供の町の初代施設長も創設から 32 年経過した昭和 56 年に「職員が職業人としてどれほど自己実現感を味わっているか」「こ

こに働く人たちの生きがいある職場作りをさらに深く考えつつ前進したいものと念じています」との言葉を残しています。

時代は流れて生活のありようは変わっていても、そこに従事している職員がやりがいを持って専念できるように整えていかなければと感じています。



「新たなスタートを切って」

エンジェルホーム施設長 西村洋平

春の訪れとともに、子どもたちの新たな一歩が始まりました。

小学校・中学校・高校、そして専門学校や大学へと、それぞれの道に進む姿に、成長の喜びを感じる季節です。

初めて会ったときにはまだ小さかった子どもたちが、ぴかぴかのランドセルを背負って小学校に通い、ぶかぶかの制服にそでを通し中学校・高校へ登校し、部活に精を出している姿を見ると、子どもたちの成長を実感できます。

また、今年も新たに仲間となる職員を迎えることができました。子どもたちと真摯に向き合い、共に生活を築いていく志を持った新しい力の加入は、私たちにとっても大きな励みです。

入学、入職と、環境の変化は不安も伴いますが、その分、新しい出会いと学びが人を大きく育ててくれます。私たち大人も、日々子どもたちから学び直す気持ちで、一緒に歩んでいきたいと思っています。皆さまの温かい応援を、これからもよろしくお願いいたします。

新任職員紹介

4 月、新しく 5 人の職員を迎えました



「抱負」

6 寮 牧野喜美佳

子どもたちが安心して日々を過ごし、自分らしく成長していけるよう、一人ひとり思いや背景を尊重し、丁寧に向き合っていきたいと考えています。まずは生活の場を共にする中で信頼関係を築き、小さな変化にも気づける視点を大切にしていきたいです。また、思い込みの判断をすることなく、子どもの言動や状況を多面的に捉え、適切な支援ができるよう支援の在り方や専門的な知識についても学び続け、支援者の一員として責任をもって子どもと関わっていきます。

「初心にかえって」

あやめ寮 村松幸子

30 年以上、福祉の仕事に関わってきました。昨年までは 15 年以上障害児の通園施設で保育を提供していたので、環境の違いに戸惑うばかりです。ただ一時保護所の経験もちょっとあるのである程度は覚悟はしていました。

1 年目の抱負としては、今までの経験からの固定観念をなくして、新人として初心に帰り、児童養護施設子供の町の先輩方々からの助言を素直に聞いて、いろいろな事を学びたいと思います。保育士としてまだまだ活躍したいと思いますので、皆さま今後ともご指導よろしくお願いしたいと思います。

「抱負」

さくら 阿部凛花

子供の町に来てから 2 ヶ月が経ちました。ドキドキな気持ちと楽しい気持ちで毎日を過ごしています。まだ慣れないことも多いですが、まずは仕事内容を 1 日でも早く覚えて、基本を身につけたいです。失敗してもめげず、挑戦を楽しみながら、毎日少しずつ成長していけるように頑張ります。まだまだ分からないことばかりで、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、よろしくお願いしたいと思います。

「1 年目の抱負」

すずらん 増田章人

私は、小学校 1 年生から中学校 3 年生まで児童養護施設にいた経験や、大学での勉強を施設で活かしたいと考えていました。

1 年目の抱負としては、子どもたちをよく知り、楽しく過ごせるよう支援していくこと、仕事内容を早く覚えることです。

働き始めて 2 か月が経ち、わからないことが多く先輩職員方にご迷惑をお掛けしますが、精一杯頑張ります。よろしくお願いしたいと思います。

「一歩ずつ」

5 寮 三谷圭吾

ご縁があって今年度から子供の町で働く運びとなりました、エンジェルホーム 5 寮所属の三谷圭吾と申します。

児童養護施設は、子どもと関わる仕事の中でも関わる年齢層と時間帯が特に広いと実感しています。それ故に、働くたびに新しい困難に直面したり、子どもの新しい一面を垣間見たりする日々です。

未熟なので悩みや不安は尽きませんが、先輩職員の皆さんの働きぶりを参考にしつつ、これから働き続けられたらと思います。どうぞよろしくお願いしたいと思います。

頑張れ一年生！

子供の町では、小学生 5 名 中学生 10 名、
高校生 9 名の 1 年生が誕生しました。

一年生になって・・・

菜の花 K ちゃんのお話し

K ちゃんは、小学 1 年生になりました。

菜の花から学校までの距離が 2 キロ弱 40 分かけて学校に通っています。最初の 1 ヶ月は職員が付き添っていましたが、今では一人で帰ってこられるようになりました。その間試練がありました。

試練①迷子になった！

住宅街に迷い込んで泣いているのを見守りパトロールの方が見つけてくれました。

試練②転んで怪我！

転んだとき、通りかかったお姉さんが絆創膏をはってくださいました。

試練に耐えた K ちゃん、1 か月がたったある日・・・

『もう、お迎え来なくていいよ』と自ら、「頑張る宣言」をしました。

毎日 40 分、暑一中頑張って登校しています。

現在の K ちゃん・・・

「縄跳びを頑張りたい。」と暑さに負けず、毎日練習しています。前飛びは 9 回も飛ぶことができ、今は「あやとび頑張る」と、腕も交差できているので、あやとびができるまではタイミングの問題で夏休みにはできるようになっていると、今から楽しみです！



『わくわくなわとび』

菜の花 小1 K.K.

「1 年生になって」

9 寮 H.O.

高校生になって、生活が大きく変わったと感じています。中学生の頃よりも勉強の内容が難しくなり、授業のスピードも速くなりました。最初は戸惑う事も多かったですが、少しずつ慣れてきました。また、部活動も本格的になり、時間の使い方をしっかり考えないと両立できません。友達との関係も、中学の頃とは少し違い、大人に近づいているような感覚があります。新しい出会いも多く、自分の世界が広がっているのを実感しています。

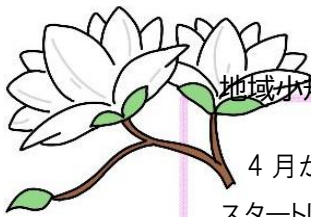
高校生活は大変なこともあります、その分やりがいや楽しい事もたくさんあります。将来のことを考える機会も増え、これからの 3 年間でどう過ごすかとても大切だと思うようになりました。目標を持ち 1 日 1 日を大切にしていきたいです。

「中学生になって」

すすらん R.T.

僕は、中学生になって部活を頑張りたいです。理由は楽しいからです。部活はサッカー部に入っています。中学生になって、部活が少し大変です。でも、何とかして上手になれるように頑張ろうと思います。中学校生活では、学校のタブレットを使うのが楽しみです。タブレットができることを楽しみにして、中学校生活を頑張ります。





地域小規模児童養護施設

もくれん



4 月から地域小規模児童養護施設「もくれん」での生活がスタートしました。大きなお家をお借りして、新しい環境で生活することが、子どもも職員もとても新鮮でワクワクしています。料理を作ったり、地域の方との関わりや行事に参加したり、穏やかな日常を過ごしています。家庭的な生活を子どもたちに感じてほしく、温かいご飯を用意したり、手厚い関わりを職員は心がけて支援しています。新しいことが多く手探りしながらも始めたからには前進あるのみなので、みんなで支え合いながら健康第一で笑顔あふれる生活にしていきたいと思います。



クラブ紹介

ボルダリングクラブ

昨年度から活動を始めましたボルダリングクラブです。担当している職員もボルダリングを楽しんでいますが、児童養護施設に入所している児童に本当にピッタリなスポーツだと思っています。



ボルダリングはゴールに向かって何度も失敗し、考え、また挑戦するといったことを繰り返すスポーツです。他の人の登り方を見ても、力の強さや体の大きさの違いから同じように登ることは難しいです。ですから、自分に合った登り方を考え、過去の自分より少し先に行く。登り切った達成感は自己肯定感を育みます。まさにピッタリなスポーツです。

家庭支援

ショートステイ(子育て短期入所事業)の受け入れ窓口は、家庭支援の業務の一つです。

子供の町では、令和 4 年に春日部市から受託、現在では 3 市 1 町の委託を受けています。

今年度はすでに予定も入れ 5 件ほど利用があります。利用理由は、保護者の出産や仕事の都合の他に、レスパイトが増えており地域のニーズの高まりを感じています。

当法人理念にもある、「地域の親子に寄り添う施設づくり」の為に、さらに地域支援にも力を注いでいきたいと思っております。



自立支援

自立支援担当は、子どもたちが社会に出る準備を安心して進められるよう、寮の職員と連携しながら日々の生活を支えています。進学や就職、奨学金や居住地の相談、仕事体験や一人暮らしを想定した体験、お金の使い方の練習など、一人ひとりの状況や思いに寄り添った支援を届けています。施設を卒業した後もつながりを大切に、 “自分らしく暮らしていく力” を育てていくことが、私たちの大切な役割です。

里親支援

2012 年から、全国の児童養護施設と乳児院に里親支援専門相談員が配置されるようになりました。その背景には、従来の施設偏重の社会的養護から、家庭養護を推進する方針への転換があります。

子供の町では、どんぐりサロン（里親サロン）、里親制度説明会、啓発活動など行ってまいりましたが、今年度、里親支援の新たな企画として「里親支援者向けの研修会」を開催することになりました。良い支援は、支援者側の学びも大切です。多くの方に参加いただき支援の拡充に協力できればと思っています。

今日の献立

おりひめとひこぼしのおいなり
餃子の皮でミニピザ
七タそうめん汁
ゼリーパフェ



いなり寿司を七タに因んで、おりひめとひこぼしや流れ星にデコレーションしました。

また、ミニピザは餃子の皮を生地に使い、スチームコンベクションオーブンでカリッと食感になるまで焼き上げております。

デザートは天の川に見立てた綺麗なブルー色の、サイダーゼリーとなります。

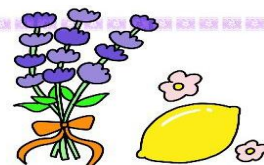
子供の町の給食室では、日々お子様に食事を楽しんでいただけますよう、工夫をして献立を立てております！

クリニック ～ナースのフキ講座～

「乗り物酔いとアロマセラピー」

待ちに待った外出も、体調を壊しては楽しめません。

乗り物酔いには中枢神経を抑制し、平衡感覚を調整する薬を使用しますが、様々副作用があります。服薬を選択する前に簡単に実践できる予防方法があります。





子供の町

第 62 回「子供の町のためのチャリティバザー」

令和 7 年 9 月 23 日（火・祝） 午前 10：30～午後 3：30

会場：明治記念館（JR 信濃町・徒歩 3 分）

入場券：¥1000（福引券つき）

協力会社、篤志家からの寄付品を販売いたします。各種有名会社などの出店ほか、福引、オークションなどお楽しみいただけます。

バザーの収益は、子どもたちの奨学金や自立支援、レクリエーション費用等に使用させていただきます。

❖新規の協賛社（者）様、出展社様を募集しております。ぜひ、ご協力ください❖

理事長再任 ご挨拶

理事長 齊之平 伸一

6 月 20 日に開催されました理事会に於いて、引き続き理事長職を拝命することになりました。

これも、皆様のご支援とご協力の賜物と、心より御礼申し上げます。

今後とも、誠心誠意努力して参りますので、よろしくお願い申し上げます。



子供の町 あれこれ



◆令和 7 年 4 月 1 日＜地域小規模もくれん誕生＞

本園近くのお家をお借りすることが出来、『地域小規模児童養護施設もくれん』が誕生しました。男児 5 人の「新たな生活の形」を担当する職員を中心に地域の中で作り上げていきます。よろしくお願いいたします。

◆令和 7 年 4 月 8 日、9 日＜入学式＞

今年の小学生は 5 名、中学生 10 名、高校生 9 名が入学式を迎えました。それぞれの新しいスタートに緊張した面持ちで出かけていきました。

◆令和 7 年 4 月 17 日＜松葉鮎さんによる寿司慰問＞

毎年のお楽しみの松葉鮎さんによるお寿司の慰問がありました。本格的な握り寿司を堪能し大満足の夕食でした。

◆令和 7 年 4 月 30 日＜令和 7 年度ワールドカフェ＞

新年度メンバーになっての初めてのワールドカフェを実施しました。新規採用職員も将来の子供の町の姿についてグループで活発な意見を交わしていました。

◆令和 7 年 5 月 5 日＜五月晴れの空に＞

今年の「こどもの日」も、園庭の鯉のぼり（だいぶ年を重ねておいぼれてきました）は、五月晴れの空を舞い泳いでいました。



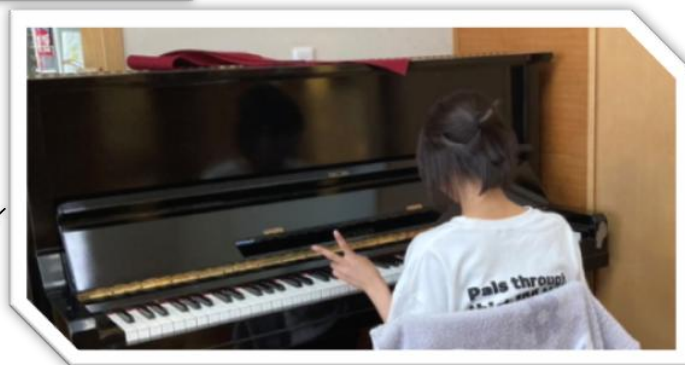
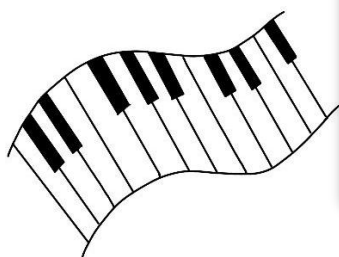
子供の町写真館



4月 お花見



6月 きれいだなあ〜



5月 Let's play the piano!



R7 年 4 月〜R7 年 6 月に寄付金・寄付品を頂いた方々（順不同・敬称略）

荒木嗣則／和泉英仁／井上修／井上喜代子／遠藤輝夫／岡田光男／金井／木下育哉／黒田益代
／内牧夢らんど／かすかべ夢らんど／平方夢らんど／コストコ新三郷倉庫店／酒井英樹・知佐子
／小林玉枝／齋藤幹雄／齋藤優子／杉谷等／鈴木幸夫／鈴木美子／生活協同組合コープみらい
／須田正子／関根勇／中条紀孝／長谷川浩一／林恵子／ブロンズ アヌルベク ハタム ウクリ／
竹内／星舞／松葉鮎／松本伸一郎／松本哲／峯直之／吉井眞理／(株)伊勢惣／大森機械工業(株)／
(株)市上建設／(株)エース電研／(株)沖田土木／カネム水産(株)／関東食糧(株)／(株)Daska & Desiree／
(株)チュチュアンナ 1%クラブ／(株)慶清商事／(株)石電設／(有)デザインオフィス オポジション／
佐藤水産(株)／サンエックス(株)／三州製菓(株)／(株)太平／ダンレックス(株)／(株)浜友 A.L. 楽園大宮
店／(有)東武管工設備／(有)萩原製作所／(株)ヒイラギ／ピーアール(株)／フェリック(株)／ムラヤマ産
業(有)／(株)みのや／(株)山元／有縁社会倶楽部／(株)レガシー／(株)YTSUN／他匿名の方々